



やさしく かしく たくましく 明朗 自主 健康 根性

すわのせしあわせ学校便り

諏訪之瀬島小中学校
令和5年度 10月25日号

島のよさを感じる秋

校長



「ヨイヤッ ヨイヤッ ヒョー」と全員で掛け声を掛けて気合を入れ、西と東から土俵に上がった子どもたちは、大相撲の秋場所に負けないほどの熱戦に次ぐ熱戦を見せてくれました。まわしを握りしめ相手を必死で寄り切ろうとする姿や土俵際の攻防等、「何としても勝ちたい」という気持ちのこもった取組は、観戦していた島民の方々の大声援を受けて、取組を重ねるごとに一段と熱を帯びたものになりました。そんな子どもたちの手に汗握る取組を観戦していると、自然と大きな声が出て拍手をし、何とも言えない充実感や満足感で胸がいっぱいになりました。観戦に来てくださった方から「いやあ、おもしろかった。」「子どもたちの人数が増えて活気があった。」といった声をお聞きし、観戦に来てくださった全ての方々も大満足の時間を過ごすことができたのではないかと思います。地域に子どもがいて、それを大人が見守り、声援を送るという光景は、本当にいいものだなとつくづく思うことでした。9月29日の十五夜は、楽しい1日となりました。

10月7日（土）は、水源地清掃でした。山の中腹にある水源地まで歩いて登っていくと、途中で日頃目にすることのない景色を見ることができました。諏訪之瀬島の新たな発見がありました。水源地に到着すると水源地の周りの藪はらいや、山肌から染み出してきた山水を溜める箱型の貯水槽の中の灰や泥の除去を行いました。溜まった多量の灰や泥が数年ぶりの清掃を感じさせました。ある程度の灰や泥が除去されると麓まで伸びるパイプへ水が流れるようになりました。諏訪之瀬島の先人の方々は、この山水で命をつなぎ、この水源地を大切に守ってきたのだと思うと、山肌から染み出している水が、大変貴重なものに思えてきました。溜まった水で手を洗うと、冷たくて気持ちよかったです。子どもたちは、清掃はできませんでしたが、水源地までの往復の道のりを歩き、島の貴重な水を得るための苦労の一端を感じることができたのではないかと思います。

8日（日）は、祈願祭が行われ、八幡神社や公民館で八月踊りがありました。太鼓や歌に合わせてみんなで輪になって踊ると楽しいものです。十五夜の時は、満月の下での八月踊りでした。これまであれほどきれいな満月の下で踊ったという記憶は、ほとんどありません。あの時の光景は、一生忘れることはないと思います。きっと子どもたちの心の中にも、しっかりと刻まれていることと思います。

新型コロナウイルス感染症が第5類に移行してから、島の行事が再び元のように行われるようになりました。十五夜で輪になって八月踊りを踊った時に島民の方が「これが島のよさだ。」とおっしゃっていました。まさにその通りだと思いました。島の行事には、島のよさがたっぷりと詰まっています。諏訪之瀬の秋は、島の行事を守り引き継いでいくことの大切さをしみじみと感じる秋です。

すわのせっ子 10月コレクション



サツマイモ収穫と焼き芋パーティー



弁当型給食



租税教室



文化祭練習

入賞おめでとう

村理科作品展審査会
入選 小学生4名

第60回記念南日本硬筆展
推薦 小学生1名
中学生2名

金賞 小学生1名
銀賞 小学生2名
銅賞 小学生3名
中学生1名

11月行事予定

1日（水） 給食フェスタ
4日（土） 第8回文化祭
中学校入学説明会
7日（火） 中3共通テスト
8日（水） 島内発送
11日（土） トカラ集会
15日（水） 受験生の集い
自由参観日
16日（木） 中3PTA
21日（火） 2学期末テスト～24日
27日（月） 持久走大会試走

文化祭に向けて

文化祭は舞台発表や作品展示を通じて、一人一人が特技や日頃の学びの成果を披露するよい機会です。人を感動させたり、楽しませたりすることは簡単ではありませんが、子どもたちは本番に向け、歌やダンス、劇の練習に励んでいます。この経験も大きな成長に繋がることでしょう。文化祭へぜひお越しください。